

地球温暖化対策 (Carbon Neutral) への取組みについて

●地球温暖化対策の推進に関する方針

【環境方針】

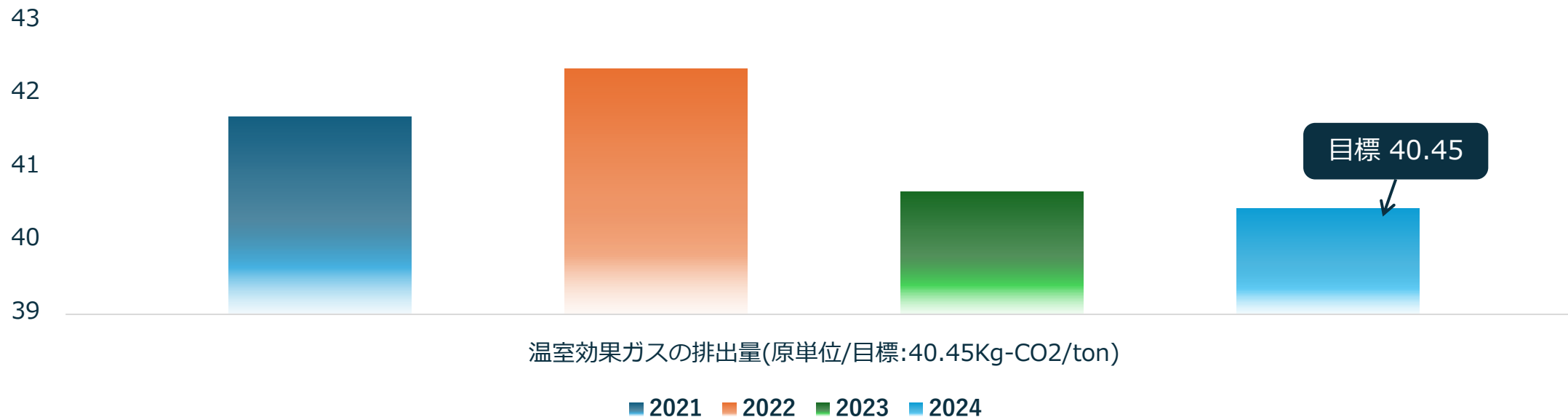
私たちは、環境への影響を配慮し、汚染予防・資源の有効利用を実施し、豊かな地域社会の発展に貢献します

【3か年目標値】

温室効果ガスを前年度比1%削減を目標に揚げます

1. 事業活動に即応した環境目的・方針を定め、その実現を図り、定期的な見直しをする事により継続的な環境マネジメントシステムの向上と環境成果の評価を行う
2. 環境目的・環境目標を定め、全社員への環境教育を徹底し、環境保全活動への意識向上を図る
3. 環境に関連する法規制、条例、協定等を遵守し、環境保全に努める(緑化活動)
4. 事業活動のあらゆる面で、環境保全を図るため、以下の項目については重点的に推進する
 - ① 温室効果ガスを前年度比1%削減(原単位計算)を目標、3年間で3%削減(原単位計算)する
 - ② 省エネルギー・省資源行動の実践(省エネルギー設備更新・冷暖房・OA機器・照明)
 - ③ 廃棄物の排出抑制・リサイクルを図る
 - ④ 自動車等輸送機関に関する対策(アイドリングストップ・エコドライブ)、低公害車の導入を推進する
 - ⑤ 常に、再生エネルギー利用を計画☞導入☞推進し、化石エネルギー利用を段階的に削減させる
5. 環境方針及び活動は、毎年定期的に見直しを行い、環境目的・環境目標に反映させ、継続的改善を図る

温室ガス排出量抑制状況



原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして、事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量、その他指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量を言います

《第6期》

- 2019～2021年は、新型コロナウイルスにより大幅な減産を余儀なくされ、各設備とも生産効率に多大な影響を及ぼしたものの、各種エネルギー使用合理化活動により、基準年度(2018年)比1.85%削減となった。

《第7期》

- 2021～2024年は、『100年に一度の大変革』の流れを受けた自動車業界の影響で、内燃機関適用の特殊鋼需要の低迷が前期状況から打破には至らずも、非化石発電設備の導入により構内電気需要量の6%を補う事が出来た。
この流れで2024年度の目標達成活動を継続する。

環境負荷低減における取組状況事例

取組の区分	具体的な取組内容	取組目的	取組実施状況
● 省エネルギー・省資源活動の実践 【工場内設備】	- 既設トランスを高効率変圧器に更新する - コンプレッサーを集中制御へ変更する - 設備用モーターの効率を向上させる - 熱処理炉の熱エネルギー効率を向上させる - 照明設備を省エネタイプへ更新する - 高効率ボイラーへ更新し熱効率を向上させる - 自動販売機をカーボンニュートラル化する - 太陽光発電設備を導入する	- 受電/変電ロスの削減 - コンプレッサー効率向上 - モーター電力削減 - 熱エネルギーロスの削減 - 熱エネルギーの有効活用 - 電力使用量の削減 - LNG使用量の削減 ☞カーボンニュートラルへの取組	- 高効率変圧器に順次更新した - コンプレッサー台数制御システムを順次展開した - 設備用モーターを順次インバーター化している - 省エネ熱処理炉に更新した - 窓ガラスへ断熱フィルムを採用した - 照明をLEDに順次更新している - 高効率ボイラーへ更新した - カーボンニュートラル証明自販機を導入した 太陽光発電設備をK工場、J工場に設置した
● エネルギー・省資源行動の実践 【OA機器】	- パソコン使用後は本体の電源だけではなく、モニターの電源も切る - パソコン使用時のモニター電源を10分後に切れる設定にする - コピー機の省エネモードの時間設定を30分とする	電力使用量の削減	- 社内サーバの台数を17台から13台に減らし、OA機器の電力削減を図った 更に13台から9台に削減した(目標は6台まで削減予定) - 定期的PC変更による高効率作業にて電力使用時間を削減 (今期は55台更新) - システム改修&ペーパーレスなワークフローによる作業効率化
● 省エネルギー・省資源行動の実践 【冷暖房・照明】	- エアコン設定温度を冷房使用時28℃、暖房使用時20℃を徹底する - 全体照明から個別照明へ変更する - 工場建屋に“明り取り”を採用し、照明効率をアップさせる	電力使用量の削減	- 事務所のエアコンを省エネタイプに更新した - 個別照明に変更し、不必要箇所は消灯している - 明り取りによる照度を確保(B-F工場) - 事務所照明のオールLED化完了
● 廃棄物の排出抑制	- ゴミを環境管理システムに基づき分類・回収し、リサイクルが容易になるようにする。 - 社内に持ち込んだ個人のゴミは、社内で捨てずに持ち帰る - 裏紙も利用しコピー用紙を削減する。	- リサイクル率の向上 - 廃棄物の削減	- 資源管理システムに基づき分類し、リサイクルに心掛け、継続して廃棄物削減に取り組んでいる 廃硫酸のリユース設備導入☞中和用薬品の削減と生成物の削減 新潤滑方式による化成廃棄物の削減 社食の事前発注による食品ロスの解消 会議時のノートPC活用による資料P/O廃止
● 自動車等運送機関に関する対策	- 急発進や急加速をしない、アイドリングストップ・エコドライブを徹底する - WEB会議を有効に活用する - 低公害車を選定する - 電気フォークリフトを導入する	環境負荷物質排出量の削減	- 低公害車を4台導入した - フォークリフト更新期に伴い電気式を順次(3台)導入した - WEB会議が定着した 車両更新時にPHV車両を1台導入した

その他 地球温暖化対策に関わる措置

- ・工場緑化活動・・・植樹・保護(緑化率拡大)
- ・熱処理炉排気ガス適正管理(燃焼条件の監視)
- ・ボイラー排気ガス適正管理(燃焼条件の監視)
- ・裏紙利用による紙使用量の削減
- ・分別ボックス設置及び分別基準の設定による古紙のリサイクル
- ・電子共有フォルダの利用による紙使用量の削減
- ・構内設置自動販売機のカーボンニュートラル取組推進
(非化石証明またはJ-クレジット制度利用)
- ・太陽光発電設備導入
- ・その他再生可能エネルギーの絞り込みと活用
- ・第三者機関によるGHG排出量Scope1、2の検証適正性評価